

和田水土里の会（松本市）

・組織の活動面積	A= 77.15 ha
・組織の構成員数	約 200 人

組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 □	向上活動 □
取組開始年度	平成19年～	—	—

構成員	町会、子ども育成会、小中学校PTA、農家組合、梓川土地改良区、担い手生産組合、農業委員ほか
-----	---

組織の概要

- ・本組織は松本市中心部から南西方向に位置する田園地帯です。
- ・平成19年度から第一期対策に取組み、平成20年度に面積拡大し、第二期対策にも継続して取り組んでいます。
- ・和田地区10町会他多数の団体が参加し、「農地水向上委員会」と「環境向上委員会」の2委員会構成しています。
- ・「農地水向上委員会」は主に農業用排水路の土砂上げを、「環境向上委員会」はホタルの再生を中心に再度生き物調査等環境整備などの活動をしています。

和田地区住民の共同活動による水土里の保全

全戸配布＜平成25年10月号＞

平成19年度に農林水産省が「農地・水・環境保全対策」として、対象とする農地面積に応じた支援（交付金）をする新しい制度を始めました。和田地区として検討した結果、「和田水土里の会」という名称で取り組むこととしました。

会長には和田町会長の会長が就き、副会長や3つの委員会の委員長などは、諸組織の役員の職名委嘱によって構成しました。この会は、「和田地区住民の共同活動によって、和田地区にある農地・農業用水路や農村環境の良好な保全と質的向上を図ることを目的とする」ものです。

設立の経緯

この支援は、平成19年度から平成23年度までの5カ年の事業でした。

成果その1: 農業用排水路に堆積した土砂を秋から冬にかけて、「和田水土里の会」のメンバーや地域住民によって、排水路の土砂を上げました。（最終ページ写真参照）

成果その2: 子ども育成会が中心となって調査隊を結成し、生き物調査を実施しました。昔に比べると生き物が減少していました。

成果その3: 和田にホタルを復活させるために、和田神社の裏に水路と池を作ってホタルが生息する環境を作りました。（最終ページ写真参照）今年ホタルが飛びました。

今迄の成果



土砂の溜まった水路



水路土砂上げ作業



水路の枯れ草



水路の枯れ草刈り

I期事業農業用水路補修写真

「和田水土里の会」かわら版

発行責任者
『和田水土里の会』
事務局

II期事業

I期の事業は平成23年度で終わりましたが、平成24年度からII期事業として「農地・水保管理交付金」が平成28年度までの5カ年間に交付されることとなりました。「和田水土里の会」では検討した結果、II期事業もこの会で取り組むこととし、申請をして認可をいただきました。

保全する農地を7,715a（オール）選定し、年間約250万円の交付金を受けて活動することになりました。

活動内容は、I期を踏襲していきますが、和田の全住民が関われる取り組みにしていきたいと思っております。

II期事業の進め方

このII期事業を推進するために、I期事業と同様に職名委嘱により役員を決め、委員会を「農地水向上委員会」と「環境向上委員会」の2つにしました。「農地水向上委員会」は主に農業用排水路の土砂上げを、「環境向上委員会」はホタルの再生を中心に再度生き物調査等環境整備の活動をします。

また、広報活動を積極的に行い、住民の方々から排水路等の堆積状況や補修の必要場所等の情報を集め、5カ年の長期計画を策定して事業を進めていきます。

この事業は住民参加の事業ですので、多くの方々のご協力をお願いいたします。

I期事業ホタル公園（仮称）造成写真



昔の池の埋め立て



新しい池造り



新しい水路造り



通水の神事